

令和7年度第4回 名張市地域公共交通会議 議事概要
次 第

日時：令和8年2月6日（金）
午後1時30分～2時51分
場所：名張市教育センター 2階大研修室

出席者：（敬称略）

（1）委員

前川 尚三 （市民公募）
澤田 恭子 （市民公募）
古谷 久人 （地域づくり代表者会議会長）
岡田 美佐子 （名張市老人クラブ連合会女性部副会長）
山根 秀生 （名張市身体障害者互助会事務局長）
中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授）
姫子松 伸浩 （近畿日本鉄道株式会社名張駅長）
川北 幸宏 （三重交通株式会社伊賀営業所所長）
酒井 孝祐 （【代理出席】株式会社キタモリ）
前田 敦志 （一般社団法人三重県タクシー協会伊賀支部 支部長）
豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）
尾上 義文 （三重交通労働組合伊賀支部支部長）
沢西 芳円 （伊賀建設事務所副所長）
稻垣 博 （【代理出席】名張警察署交通課係長）
森 慶之 （国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）
木村 穎志 （【代理出席】三重県地域連携・交通部交通政策課係長）
伊集院 時仁（名張市都市整備部部長）
野口 泰弘 （名張市地域環境部部長）
出江 良隆 （名張市副市長）

（2）オブザーバー

小倉 宏基 （三重交通株式会社伊賀営業所総務係長兼営業係長）

（3）事務局

都市整備部 都市計画室 4名

会議の公開・非公開：公開

傍聴人：2名

1 開会

2 会長あいさつ

会長：皆様、お忙しいところ第4回名張市地域公共交通会議にお集まりいただき誠にありがとうございます。

名張市副市長の出江でございます。

皆さま方におかれましては、日頃から、市政全般に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、本市の公共交通政策にご理解とご協力を賜わり、それぞれのお立場でご尽力をいただいておりますことにつきましても、重ねてお礼申し上げます。

本日は、本年度最後の公共交通会議となります。

本年度行いました事業のご報告や新年度に向けての事業計画を議題とさせていただいております。

本年度事業について少し触れさせていただきますと、現在、実証運行をおこなっております薦原地域のコモコモ号についての再編とデマンド運行につきましては、年度末に向けて実験結果がまとまってまいりました。後ほど議題のなかで本格運行に向けまして詳細の説明がありますが、改めまして薦原地域の皆さま方と運営委員会の皆さまのご協力に感謝を申し上げます。

また、11月の会議でも申し上げましたが、本年度は公共交通に関する人材育成の取組も行っております。

「地域で支えるコミュニティ人材育成事業」と題しまして合計4回にわたり、セミナー、勉強会、ワークショップを行わせていただきました。また、当初の予定にはなかったのですが、福祉部局との連携といたしまして、「介護予防連携会議」での「移動を考えるワークショップ」も1回開催させていただき、日頃お世話になっています中平、樋口両先生には講師として大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

おかげをもちまして、参加者の皆さまには、地域交通の現状、移動手段の可能性等について理解を深めていただく機会を得ることができたと感じております。

最後になりますが、移動手段につきましては名張市独自の課題がございます。本市の個性を活かしながら持続可能な移動確保を目指しまして、本会議は開催させていただいております。委員の皆さま方がお持ちいただいている知見を元に、本日も忌憚のないご意見を賜わります

よう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

甚だ簡単ではございますが、会議開催にあたりましての私からのご挨拶とさせていただきます。

3 議事

【事務局より資料に基づいて説明】

【協議案件】

(1) 薦原コミュニティバス「コモコモ号」及び「コモコモらいど」の本格運行について

【資料1】

委員：(コモコモ号)

資料1のP6にて、早い時間帯の運行について希望はアンケートで分かったのか
それとも運行前から分かっていたのか。

ダイヤを見ると、お買い物を中心に作成しているのがわかるが、早い時間帯の
運行は、病院に行きたいまたは他に目的やニーズがあるといった理由があるのか。

(コモコモらいど)

資料1のP11にて、乗合いはこの特定の利用者3～4名で乗合っているのか。

また、登録はあるが利用が少ないのは周知が足りないのか利用しにくいといった
ことがあるのか。

事務局：(コモコモ号)

早い時間帯の運行については、実証運行を始める前の制度設計の段階でもどう
するか議論がありました。

財政シミュレーション等をしていく中で利用ニーズのバランスをどのように
取っていくのかといったところがあった。

早い時間帯については、今回のアンケートでも出ていましたが病院利用で9時45分から
では遅いといった声があった。しかし、病院については住民さんによって行くところが
様々であるということからすべてのニーズに答えていくには時刻だけではクリアでき
ないといった部分がある。

今回は、買い物のニーズをしっかりと満たしたいということで実証運行と同じ時刻表で
本格運行に移りたいと考えている。

(コモコモらいど)

利用者が4名の中で乗合っているのは、同じ地域でお住まいの方が2名でされています。
登録者数と利用者数の違いについては、利用者アンケート中でもまだ詳細が知られ
ていないや不便といったことがある。

不便については、利用できる範囲がどこまでも伸びればタクシーと競合してしまう。

基本的には、薦原地域とその周辺の商業施設のみを運行していくというところで
公共交通としてバランスをとっていることもあり不便というのが残ってしまう。

登録については、地域で公共交通を守っていかないといけないので今すぐは利用しないが登録だけをして、登録料を払ってそれを運行費に充ててもらえばといった方もいる。

委員：(コモコモらいど)

登録について、登録料で地域貢献することは素晴らしいと思いました。

コモコモらいどは、自家用有償運送ということで運送の運賃と運行エリアの変更については改めてここで会議するのか。

事務局：自家用有償運送ですので、道路運送法の会議で協議します。

また、運行主体が名張市から薦原コミュニティバス運営委員会に代わりますのでそのあたりも含めて協議をお願いしたい。

委員：別に協議することで理解しました。

委員：(コモコモ号)

資料1のP5のコモコモ号乗込み調査で往復利用が約4割だが残りの6割方は、どうしているのか。

(コモコモらいど)

会員登録の更新時期については、1年更新か。

利用者からの声はあるが、住民ドライバーの方からの意見は何かあるか。

事務局：(コモコモ号)

実際に乗り込み調査をした中で、家族に送迎をしてもらっている以外に片道は健康のために歩いているという声があった。

(コモコモらいど)

ドライバーからは、「付近」の線引きが難しいという意見があった。

更新については、1年間4月～翌年3月まで、本格運行の令和8年4月からは、会費1,000円となります。

委員：桔梗が丘駅西口・東口にそれぞれコモコモ号時刻表の表示があるが、1日2便しかないように見える。

下の方に細かい字で色々書いてあるが、高齢者は読まない。

西口・東口で発着違うが桔梗が丘駅からは、1日4便あることがわかる表示の仕方にした方がいいのではないか。

事務局：委員が仰ってくれたことについては、地域の方々が工夫をして基本的には、バス停にはそのバス停にくる時刻しか載せていないが、桔梗が丘駅にはルート・ダイヤ全体のものを載せているためそちらを見てもらいたらそれぞれ西口・東口から2便ずつある4便あるということが分かるようにしています。

座長：時刻表については、難しいところがある。

全体か一部か地域の実状に応じて決めればいいのかと思う。

コモコモ号は、観光向けではないので地域の方、近隣地域の方がわかりやすい表示にする方がよいのではないかと思います。

委員：コモコモ号の運賃について、乗る立場からすれば高く感じる。

買い物で、往復400円は少しでも節約したい主婦からすれば高いのではないか。

事務局：運賃について、住民アンケートの方でも高いという意見は現状多くない印象でした。

ナッキー号とのバランスや今まで100円だったが利用が不便など再編により利用等がしやすくなったことから100円からもう少し上げてもいいのではないかと協議し200円に設定した経緯がある。

座長：今後、沢山の問題が出てくるかと思うが、本会議においては否定意見等なかったため
コモコモ号・コモコモらいど本格運行については、承認でよいか。（了）

（2）名張市地域公共交通計画の一部改訂について

【資料2】

委員：市の補助金300万円とあるが、コモコモらいどとあわせてか。

事務局：コモコモ号・コモコモらいど両方あわせてです。

委員：フィーダー補助金について、赤字の1/2とあるが残りの部分は地域の負担か。

事務局：フィーダー補助金の1/2と市の補助金300万円で補えると思っています。

座長：資料2のP58の表記について、「公共ライドシェア」でよいのか。

委員：法律上正確にするのであれば、「自家用有償旅客運送事業」が正しいが

事務局と支局の方で調整します。

事務局：そうなれば、「一般乗合バス」の表記も変更しなければならないため
支局と相談し調整します。

委員：トライアルというスーパーができるが、交渉したいでそこにコミュニティバスを
乗入れさせてもらえるのではないか。
市は、今動いているか。

事務局：トライアルの建設場所は、三重交通の上野ルートやみどり号が走っているエリアに
なります。みどり号については、以前にマックスバリュまで路線を延ばしたい

話などがあった。

令和5年に、マックスバリュ前にナッキー号の路線が延びて利用が増えた経緯がある。

トライアルができるなかで、ニーズ等があるなら希望する地域と協議します。

座長：トライアルへのバス乗り入れについては、住民相談会で意見等が出れば検討される。

企業なので費用面で難しい。

また、市の意見でバス停を作つて下さいというのを見たことがない。

特定の事業者に無理を言うのは、控えた方がいい。

座長：名張市地域公共交通計画の一部改訂について承認としてよいか。（了）

【報告案件】

（1）地域で支えるコミュニティ交通人材育成事業について

【報告資料1】

座長：この事業については、まずは福祉との連携そして今後は色々な所と連携していく一歩と考えています。

4 その他

事務局：ナッキー号の妊婦・子ども・子育てキャンペーンについて、令和8年3月31日で終了となつてますが三重県の補助金が延長となり申請を行つており延長を予定しています。

ナッキー号の運賃改定に伴い、200円を無料にするといったものになります。

延長について、今後また公共交通会議での承認が必要となりますので3月頃を目途に書面にて開催させていただきます。

よろしくお願ひいたします。

5 閉会

会長：長時間、皆さまお疲れ様でした。

案件について、色々ご意見・ご提案ありがとうございました。

今年度、最後の会議となりますので改めてお礼申し上げます。

それぞれの立場から、または地域の実状に即した視点からご意見いただきありがとうございました。

本会議は、皆さまのご協力があつてのことということで、深く感謝申し上げます。

色々、ご意見いただいたと思いますので、それらを踏まえまして関係者と連携しながらより良い利用しやすい公共交通を目指していきたいと思っております。

今後とも、名張市の公共交通充実に向けて変わらぬご指導とご協力のほど賜りますようお願い申し上げます。

本日は、ありがとうございました。